鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴

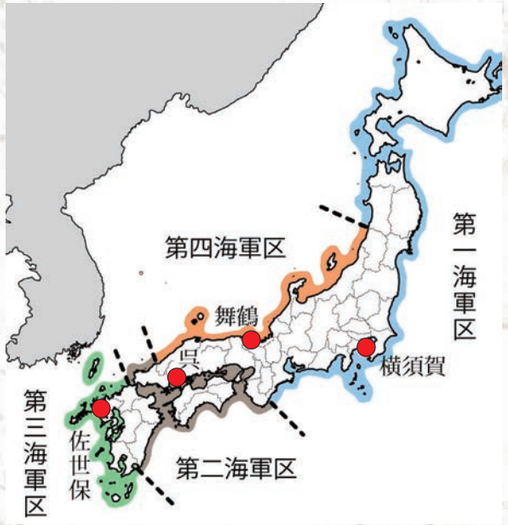
～日本近代化の躍動を体感できるまち～

JAPAN HERITAGE
日本遺産

旧軍港四市
シンボルマーク
（松本零士氏デザイン）

「認定されたストーリー」の概要

明治期の日本は、近代国家として西欧列強に渡り合うための海防力を備えることが急務であった。このため、国家プロジェクトにより天然の良港を四つ選び軍港を築いた。静かな農漁村に人と先端技術を集積し、海軍諸機関と共に水道、鉄道などのインフラが急速に整備され、日本の近代化を推し進めた四つの軍港都市が誕生した。百年を超えた今もなお現役で稼働する施設も多く、躍動した往時の姿を残す旧軍港四市は、どこか懐かしくも逞しく、今も訪れる人々を惹きつけてやまない。



「日本遺産(Japan Heritage)」とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定します。
このストーリーを語る上で不可欠な、魅力ある有形・無形の様々な文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することによって地域の活性化を図ります。

「日本遺産と世界遺産」の違い

世界遺産は登録される文化財等の価値付けを行い、保護を担保とすることを目的としています。一方で、日本遺産は既存の文化財の価値付けや保全のための新たな規制を図ることを目的としたものでなく、地域に点在する遺産を「面」として発信することで、その地域の魅力ある特色をわかりやすく表現し、地域活性化への活用や文化財への理解を促進することを目的としています。

記念艦「三笠」(三笠公園内)

明治35年(1902年)にイギリスで竣工した戦艦。明治38年(1905年)の日本海海戦において連合艦隊の旗艦として勝利に貢献。この勝利により日露戦争は終局に向かい講和が成立、日本は近代国家の仲間入りを果たしました。大正15年(1926年)に「記念艦」となり、当時の歴史や建造技術を伝えています。

■指定等の状況：未指定
■住所：横須賀市稲岡町82-19
■見学：見学可

ラッパ君が代

朝夕に、艦船上での国旗や自衛隊旗の掲揚と降納に合わせて港に響き渡るラッパの音は、鎮守府のまちならではの伝統を体感することができます。

■指定等の状況：未指定
■住所：―
■見学：不可

記念艦「三笠」へのアクセス

■京急線横須賀中央駅ご利用の場合
三笠循環バスで「三笠公園」バス停下車
■JR横須賀駅ご利用の場合
路線バスで「大滝町」バス停下車、徒歩７分
三笠循環バスで「三笠公園」バス停下車
■お車の場合
横浜横須賀道路 横須賀IC～本町山中有料道路、終点から５分
付近に駐車場あり(有料)

その他の構成文化財へのアクセスはコチラから!!

発行：横須賀集客促進実行委員会
お問い合わせ：ＴＥＬ046-822-9672 (平日9時～17時)

平成30年７月発行 第４版

無断転載禁止

ストーリー・文化財に関する
お問い合わせ：ＴＥＬ046-822-8484 (平日9時～17時)
横須賀市教育委員会生涯学習課

横須賀の日本遺産構成文化財群

横須賀製鉄所・造船所にかかわる構成文化財

「ヨコスカ製鍊所」(上)
「ヨコスカ造船所」(下)刻印レンガ

【ストーリーの中の位置づけ】
横須賀製鉄所創設にあたり所内で生産された国産最古級の赤れんが。フランスの規格による建築用れんがで、軍港界隈には木骨れんが造の造船関連施設が建ち並んでいました。

■指定等の状況：未指定
■住所：横須賀市深田台95 横須賀市自然・人文博物館
■見学：可（一部常設展示）
9時～17時開館　月曜日・年末年始休館

スチームハンマー（旧横須賀製鉄所設置）1865年 オランダ製
0.5トン片持型（左）3トン門型（右）

【ストーリーの中の位置づけ】
1865年の横須賀製鉄所創設と共にオランダから輸入した艦艇の建造・修理のための鍛造機械。以後の継続的な近代造船の第一歩を記す遺産で、3トン門型は平成8年まで約130年間稼働していました。

■指定等の状況：国指定重要文化財（歴史資料）
■住所：横須賀市東逸見町1－1（ヴェルニー記念館）
■見学：可　9時～17時開館　月曜日・年末年始休館

近代造船所建築図面資料 230点

【ストーリーの中の位置づけ】
海軍の技術力に関する資料で、西洋の造船技術を日本人がどのように吸収し、表現したかを物語っています。横須賀造船所の技手が所蔵していたもので、呉港、佐世保港などの資料を含んでいます。

■指定等の状況：市指定有形文化財（歴史資料）
■住所：横須賀市深田台95　横須賀市自然・人文博物館
■見学：可　資料の一部を常設展示
9時～17時開館　月曜日・年末年始休館

第一号～第三号船渠配置

米海軍横須賀基地ドライドック1号～6号
（旧横須賀製鉄所・造船所・海軍工廠第一～第六船渠）

【ストーリーの中の位置づけ】
軍港の景観を特徴付ける艦艇修理用のドライドック（船渠）。石造ドック（1～3号）からコンクリート造ドック（4～6号）へと技術の推移やドックの大型化＝艦艇の巨艦化がわかります。

■指定等の状況：未指定
■住所：横須賀市泊町
■見学：不可　1～3号ドッグのみヴェルニー公園から望遠可、説明板あり

1号～3号ドック

横須賀鎮守府にかかわる構成文化財

米海軍横須賀基地C１建物（旧横須賀鎮守府庁舎）

【ストーリーの中の位置づけ】
第一海軍区を管轄した鎮守府の庁舎。関東大震災で被災したれんが造の庁舎に代わり大正15年に建設された鉄骨造の2代目庁舎。海軍の技術力を証明する日本最初の耐震建築です。

■指定等の状況：未指定
■住所：横須賀市泊町
■見学：不可

米海軍横須賀基地C２建物
（旧横須賀鎮守府会議所・横須賀海軍艦船部庁舎）

【ストーリーの中の位置づけ】
鎮守府の関連施設で、昭和9年建設の鉄骨造2階建て。震災後の建築としては装飾性に富み、海軍の威信を感じます。正面入口に「横須賀鎮守府会議所」と「横須賀海軍艦船部」の表札が今も残っています。

■指定等の状況：未指定
■住所：横須賀市泊町
■見学：不可

米海軍横須賀基地B39建物（旧横須賀海軍工廠庁舎）

【ストーリーの中の位置づけ】
海軍工廠の入口に所在した庁舎。この建物もれんが造に代わる2代目で、震災復興は4市の中でも横須賀市の特徴です。海軍の技術力を示す日本最初期の耐震建築（昭和2年建設）。

■指定等の状況：未指定
■住所：横須賀市泊町
■見学：不可

海上自衛隊横須賀地方総監部田戸台分庁舎
（旧横須賀鎮守府司令長官官舎）

【ストーリーの中の位置づけ】
歴代の鎮守府司令長官の官舎。東京湾を一望する丘の上に建つ。大正2年、桜井小太郎の設計で建設し、洋館と和館からなる当時の建築デザインの水準を示す建物です。

■指定等の状況：未指定
■住所：横須賀市田戸台90
■見学：不可（一般開放日あり）

逸見波止場衛門

【ストーリーの中の位置づけ】
海軍の歴史と面影を伝える旧横須賀軍港逸見門の衛兵詰所。明治末から大正初期に建設された2棟の建物には「逸見上陸場」、「軍港逸見門」の表示板が残っています。

■指定等の状況：市民文化遺産（建造物）
■住所：横須賀市汐入町1－1（ヴェルニー公園内）
■見学：可

東京湾要塞にかかわる構成文化財

東京湾要塞跡 猿島砲台跡・千代ヶ崎砲台跡

【ストーリーの中の位置づけ】
首都及び軍港を守る東京湾要塞（20の砲台・堡塁・海堡）のうちの2砲台。着工年が明治14年と明治25年で、11年の開きがある両砲台では、切り石やれんがの積み方、コンクリートの使用の有無など、建築技術の推移がわかります。

■指定等の状況：国指定史跡
■住所：猿島砲台跡　横須賀市猿島1
千代ヶ崎砲台跡　横須賀市西浦賀6－17－1他
■見学：猿島砲台跡　見学可
千代ヶ崎砲台跡　可（見学会のみ）

猿島砲台跡

猿島砲台跡全景

千代ヶ崎砲台跡

観音崎・走水地区の砲台群
観音崎砲台跡・三軒家砲台跡・
走水低砲台跡

【ストーリーの中の位置づけ】
首都及び軍港を守る東京湾要塞のうち、東京湾口に位置する。観音崎第一砲台は、明治13年に起工、明治17年に竣工した西洋の築城技術による日本最初の砲台。時代の異なる砲台が東京湾防衛の歴史を解き明かします。

■指定等の状況：未指定
■住所：観音崎砲台跡
三軒家砲台跡
横須賀市走水1（県立観音崎公園内）
走水低砲台跡
横須賀市走水2－698（旗山崎公園内）
■見学：観音崎砲台跡・三軒家砲台跡／見学可
走水低砲台跡／可（ガイド付きツアーのみ）

観音崎砲台第一砲台跡

走水低砲台跡

東京湾第三海堡構造物（兵舎・観測所・探照灯・砲側庫）

【ストーリーの中の位置づけ】
首都及び軍港を守る3基の海堡（かいほう）（人工島に火砲（かほう）を設置した海上砲台）の一つ。関東大震災で水没した構造物を引き上げ市内2カ所で展示。鉄筋コンクリートの採用など当時の建築技術の高さを示しています。

■指定等の状況：県指定有形文化財（歴史資料）
■住所：横須賀市平成町（うみかぜ公園内）
横須賀市夏島町（夏島都市緑地）
■見学：うみかぜ公園内　見学可
夏島都市緑地は、毎月第一日曜日と行事開催日のみ。

うみかぜ公園内の兵舎

海軍水道と鉄道にかかわる構成文化財

【走水水源地】
煉瓦造貯水池
鉄筋コンクリート造浄水池

明治35年、煉瓦造貯水池

明治41年、鉄筋コンクリート造浄水池

【ストーリーの中の位置づけ】
軍港水道走水系統は、明治9年、横須賀造船所まで7kmに土管を敷設したことから始まります。半原（はんばら）系統の整備に伴い、市民への給水に転換。水源地としては珍しく海を臨む低地にあります。

■指定等の状況：国登録有形文化財（建造物）
■住所：横須賀市走水1－2－1
■見学：不可（敷地外から望遠のみ）

七釜トンネル

【ストーリーの中の位置づけ】
明治22年開通の横須賀線のトンネル。鉄道敷設当初のトンネル（中央）と複線化による大正期（右）、海軍施設への引き込み線用の昭和期（コンクリート造、左）の3本が並んでいます。全国一トンネルの多いまち横須賀を代表するトンネル景観です。

■指定等の状況：未指定
■住所：横須賀市田浦町・田浦港町
■見学：可（ＪＲ田浦駅ホーム際）

【逸見浄水場】
緩速ろ過池調整室4棟
配水池入口2棟
ベンチュリーメーター室1棟

緩速ろ過池調整室と配入池入口

ベンチュリーメーター室

【ストーリーの中の位置づけ】
軍港水道半原（はんばら）系統は日露戦争後の水の安定供給のため明治45年に着工。
軍港を見下ろす丘の上にあり、鉄筋コンクリート造の諸施設の中でも配水池入口は、白亜の塔として往時の姿を伝えます。

■指定等の状況：国登録有形文化財（建造物）
■住所：横須賀市西逸見町2－10
■見学：不可

横須賀造船所の絵図

横須賀港周辺の絵図

【ストーリーの中の位置づけ】
軍港とまちの発展を伝える絵図で、明治12年から明治39年までに刊行された当時の観光マップ。「横須賀港一覧繪圖（えず）」「横須賀明細弋覧図（いちらんず）」など現在9版が確認されています。

■指定等の状況：未指定
■住所：横須賀市深田台95　横須賀市自然・人文博物館
■見学：特別展開催時等で見学可　9時～17時開館　月曜日・年末年始休館

横須賀一覧繪圖